

(令和6年3月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	3月の総入荷量は前年同月比で6%下回り、総取扱金額は前年同月並みとなった。 4月は「春を告げる魚」と呼ばれる、にしんが旬の時期を迎える。京都市場では主に頭部と内臓を取り除いて乾燥させた身欠にしんが入荷しており、年間を通して流通している食材である。煮物や焼物など、様々なメニューが楽しめるので、ぜひ旬を味わってほしい。
鮮 魚	鮮魚は入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。 品目別には、まいわし、ひらめの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ぶり、さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は22%上回った。 品目別には、冷さばの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷まぐろ、冷かつおの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は前年同月並みとなった。 品目別にはすけそうこ、開干あじの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ちりめん、身欠にしんの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	三重、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は１９％上回った。
さ ば	長崎、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１８％上回り、単価は１４％下回った。
び ん ち ょ う	鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は２４％上回った。
さ わ ら	韓国、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は前年同月並みとなった。
ま だ い （天 然）	愛媛、兵庫で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は１８％上回った。
あ さ り	中国、北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１３％上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で５％上回り、単価は需要の増加により、３％上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ け	入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は需要の伸びがみられなかったことから８％下回った。
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で３６％下回り、単価は２８％上回った。
(加工水産物)	
ち り め ん	入荷量は前年同月比で３８％上回り、単価は３３％下回った。
干 か れ い	入荷量は前年同月比で３４％下回り、単価は需要の伸びがみられなかったことから８％下回った。